

[宮崎県社会福祉士会通信]

みなみ風

<発行> 宮崎県社会福祉士会
会長 松井 利博
<事務局> 宮崎県社会福祉協議会
事務局長 吉田 雅憲
2007(平成19)8.1発行 / No38

発行にあたり

就任して四ヶ月経ちました

四月一日から宮崎県社会福祉士会の会長に就任して四ヶ月が過ぎました。この間に、理事会・三役会及び決算総会の開催、鹿児島県社会福祉士会社団法人化記念祝賀会参加、県福祉保健部への社団法人化についての相談、県虐待防止連絡会議への参加等、それなりに会長としての責務を果たしてきたのではないかと思います。

しかしながら、二百名を超える会員の皆さんが宮崎県社会福祉士会に入ってよかったと思えるような組織とはどうあつたらよいかということについては、まだ取り組みの端緒にすぎない状況です。

そうした中で、総会の折に皆さんにお約束した宮崎県社会福祉士会ホームページを、担当の黒木理事にご苦労いただいて、ようやく

立ち上げることができました。

ご覧になっていかがですか？

目の肥えた方からすれば、満足とはいえないかもしれませんが、お金のない中、全国統一研修の開催を十二月に控え、何とかしてホームページを立ち上げたいという思いと、せつかくつくるのならホームページの情報を理事・事務局長・各委員長及びブロック事務局長が、自分のパソコンから責任をもって、最新の情報に更新できるものをと望んだ結果、「ゼロ円自作作成ホームページシステム」と出会い、今回の立ち上げにつながったのでした。いまや、士会役員や事業の執行責任者が、会員の皆さんと取り組んでいく活動を踏まえて、宮崎県社会福祉士会として、責任をもって、外部に情報を発信する仕組みは整いました。

つづいて、私たちは、会員一人ひとりが、社会福祉士としてのアイデンティティを確立していくための成長の場としての会員専用のページをホームページにリンクし

てつくり上げるために、広報委員会と検討を進めています。いずれ近いうちに、今度は、会員の皆さん一人ひとりが、情報や意見等を提起し、それを通じて、会員みんなが成長につながるような仕組みを整えることができると思います。

私は、皆さんが、宮崎県社会福祉士会の会員であることを誇りに思ってもらえるような組織をめざして、これからも微力ながら頑張っていきたいと考えています。

さあ、“県民の皆さんから信頼される社会福祉士”への自己確立の歩みを、共に一歩一歩踏みしめて進めていきましょう！



会長 松井利博

定期総会ダイジェスト

とき 平成十九年五月十九日
ところ 宮崎サザンビューティ
美容専門学校

出席者六四名、委任状六八名
定数(一一七名/会員二二三名)

協議事項

第一号議案 平成十八年度事業報告

について

平成十八年度事業総括を会長より一括して説明しました。この中でも特に、身近な地域で活動するための地区組織を中心とした組織再編とその活動基盤づくりをもとに活動を振り返りました。

県支部の会員はさまざまな職場・職種に配置されているが、そうした日常の場にソーシャルワーカーである自分があることの意義とそこで果たすべきソーシャルワーカーとしての役割を今一度、会員一人ひとりが自覚する必要があると考える。研修会や会議だけが

会員としての活動の場ではないということ、権利侵害や虐待等は、施設や在宅の日常の中で行われていることを踏まえると、会員一人ひとりからソーシャルワーク実践に関する積極的な提案や要望が会に寄せられ、そこから積極的な活動が展開される必要があるのではないだろうか？

そして、会員一人ひとりが、自らを『あこがれの社会福祉士』、『理想の社会福祉士』に近づけることができるよう、社会福祉士会の活動を通じて飛躍していくことが求められていると考えていると結ばれました。

会員のみなさん！ソーシャルワーカーとしての役割を今一度考えてみましょう。

第二号議案 平成十八年度一般会計

特別会計決算報告について

一般会計と特別会計について事務局より説明があり、決算の承認を受けました。

第三号議案

特別委員会の設置に係る「宮崎県社会福祉士会規約」の改正について

常設の六つの委員会以外に特別な目的のために一時的に委員会を設置できるようにするために規約改正の承認を受けました。

これは、法人化の実現を目的とする「法人化推進委員会」と全国統一研修開催のための「全国統一研修実行委員会」の二つの特別委員会です。

第四号議案 平成十九年度一般会計

第一次補正予算について

特に、一般会計の交付金収入の補正について審議され、承認を受けました。

報告事項1

選挙管理委員会委員の任命について報告されました。

報告事項2

その他 事務局長・委員会担当理事及び各委員会委員の任命について報告されました。



交流会風景



基礎研修風景



事前打合せ

ブロック活動について

県北ブロック

【基本方針】

多くの会員が活動に参加できる環境づくりを行い、会員相互に顔の見えるネットワークづくりを通して支部活動の活性化を図っていきます。また、会員獲得、会員相互の連携強化を図るための広報・啓発活動を実施します。

【事業計画】

- 1 概ね2か月に1回程度、情報交換や勉強会、研修等を計画し、多職種からなるネットワークを生かした自己研鑽の機会を提供します。
- 2 ブロック活動を活性化するために会員同士、顔の見える関係作りを重視した活動を実施します。
- 3 会員獲得、会員相互の連携強化を図るための広報・啓発活動を行います。

【活動近況】

四月二十一日(土)に県北ブロックの活動計画・会員交流の意味も含めて延岡市の居酒屋で会議・懇親会を行いました。二十四名の参加でおおいに盛り上がりました。後期は前期に実施出来なかった研修会を計画していきます。会員相互の連携と交流の中で県北からどんどん発信していきたいと思えます。



県北ブロック長
久光 博之

県央ブロック

【基本方針】

県央ブロックにおいては、会員の誰もが「お互いを知る」ことができ、会員相互のネットワークが図れる

【事業計画】

- 1 研修委員会等とタイアップして、「楽しく学ぶ」を目標にした研修会を開催します。
- 2 「宿泊研修」と「県央地区を三ブロックに分けた研修会」を実施します。
- 3 自らを癒し、仲間づくりを目指した「交流会」を実施します。通信機器を活用した広報啓発活動を展開します。
- 4 今後の医療・保健・教育・労働等との連携をどう図るかについて研究を行います。

ように情報交換・交流の機会をより多く増やします。
また、地域社会や時代の要請に込められる社会福祉士像を目指し、「知識・技術向上の一助となる研修」や「医療・保健・教育・労働等との連携を考える研究」を行います。
有益な情報の提供(広報)に努め、新規会員加入の促進を図るための広報啓発活動に努めます。

【活動近況】



6月に開催した
県央ブロック合同委員会



県央ブロック長
申間 保昭





ディスカッションで発表する乗峯純也氏(会員)

(県南ブロック活動予定)

日程 八月 又は 九月

活動内容 合宿研修

小林・えびの地域担当

会場 未定



《お知らせ》

介護支援専門員実務講習受講試験全国統一模擬試験の実施

本会では、社団法人化に向けての取り組みのひとつとして、公益事業や収益事業を積極的に取り組むこととしています。こうした取り組みのひとつとして、介護支援専門員実務研修受講試験を受験される方を対象とした全国統一模擬試験を実施することになりました。

介護支援専門員実務研修受講試験は、十月二十八日(日)に予定されており。

全国統一模擬試験は、九月上旬から十月上旬に実施することになっていますので、詳細が決まり次第ホームページ等を通じて案内をさせていただきます。

《お知らせ》

平成十九年度宮崎県社会福祉士会「基礎研修会」及び「ケアマネジメント技法研修会」の開催

期日 平成十九年八月十八日(土)

午後一時半から三時半

場所 宮崎市総合発達支援センター(宮崎市新別府町久保田六五七番地四)

内容(予定)

基礎研修

会の組織・活動について

生涯研修制度について

社会福祉士の倫理綱領・行動規範の解説

ケアマネジメント技法研修

(各福祉制度の現状と課題)

参加申込締切

八月十六日(木)まで

法人化の取り組み

特別研修「なぜ法人化が必要か」

鹿児島県社会福祉士会の法人化の歩み

短期結線の戦略

具体的な事務作業

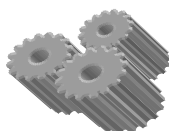
任意団体の解散、社団法人

設立総会等

これからどうするか



社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 久永 繁夫 氏



特集

福祉現場のリスクマネジメント -その1-

高齢者介護施設におけるリスクマネジメント

特別養護老人ホーム敬寿園

副施設長 井上潤二

私の勤務する特別養護老人ホーム(以下、特養)でのリスクマネジメントの取り組みを紹介します。

特養でのリスクには様々なものがありますが、当施設では主に介護事故対策、感染症対策、拘束廃止、褥創対策、苦情処理に取り組んでいます。

から については、毎月一回、一括して会議を実施します。会議は施設長をはじめとして、介護、看護、栄養(調理)、総務、生活相談室など各部署の責任者が参加します。

そこで協議された内容を介護などそれぞれの現場に周知し、リスクの予防軽減に努めています。

介護事故対策では、前月のヒヤリハット・事故報告書を集計して、介護担当者から報告してもらいます。そして再発防止について協議します。介護事故では転倒と骨折、薬の間違いなどが大きな課題です。感染症対策ではインフルエンザ、ノロウイルス、O157などが課題となっており、感染に弱い虚弱高齢者を多く抱える施設では苦慮しているところですが、拘束廃止では、

車椅子での立ち上がり(転倒)防止の抑制帯を使用しないことや、転落予防のためのベッド四本柵を使用しないことへの取り組みは進んでいます。しかし、経管栄養で食事(栄養)を摂る利用者(意識障害者)が自分の手でチューブを抜き去り、誤嚥性肺炎になることを防ぐためにミトンによる拘束をすることが少数、時間限定的ですが行われていきます。これは代替え案の検討やご家族の了承を経て実施されているものです。褥創は、以前は寝たきりによるものが多かったのですが、寝かせきり批判に伴って、最近は「離床」が進みました。そのためか、車椅子での長時間座位による臀部の褥創が増える傾向があります。

ちなみに重大な事故等については、月一回の会議を待たず、緊急の会議や現場検証を行い善後策が検討されます。

それぞれのリスクについて、協議され対策案が提示されるのですが、職員への周知や実践については、十分とは言えない状況です。職員の質や人数、労働条件や働き方などいろいろと改善の余地があると思います。

苦情処理については、随時会議を開き対応します。最近では単なる意見や苦情への対応だけでなく、いわゆるクレーマー対策も課題とな

っています。第三者委員会を設置していますが、これからは行政、弁護士等との連携、相談も必要な時代になってきたようです。

福祉、介護の職場でのストレスや早期離職、求人難の要因の一つに、これらのリスクがあると思われると思います。社会福祉士および社会福祉士会が、改善のための調査や提案が少しでもできれば・・・と思います。



特別養護老人ホーム 敬寿園
副施設長 井上 潤二



ホームページを開設！！



待ちにまった宮崎県社会福祉士会のホームページがやっと開設しました。

URL <http://www.miyazaki-csw.org/>

E-mail info@miyazaki-csw.org

編集後記

今回、初めて機関誌の編集作業に携わりました。記事の収集方法、レイアウト構成、見出しの工夫等々、会員の皆さんに興味を持って読んでもらう為の工夫と配慮が紙面の中に入りばめられ発行されていますということを体感しました。今まで何気なく読んでいた「みなみ風」ですが、今みると芸術作品のように見えてしまいます。

“初心者 若葉マーク”の運転ですので、発行に関し皆様にご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、皆様のご協力をいただきながらタイムリーな情報の発信をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

広報副委員長
上田 祐資

社会福祉士会関係役員です

よろしくお願ひします!!

【常設委員会】

権利擁護委員会

担当理事 吉田 安幸

委員長 日田 剛

研修委員会

担当理事 日高 五子

委員長 黒木 佳恵

ケアマネジメント委員会

担当理事 古賀 正之

国家試験対策及び組織率向上委員会

担当理事 川野 雄司

委員長 西田 貴幸

広報委員会

担当理事 黒木 幹雄

委員長 井上 潤二

地域包括支援センター推進委員会

担当理事 嶋田喜代子

委員長 土寄 秀樹

【特別委員会】

法人化推進委員会

担当理事 川崎 順子

全国統一研修実行委員会

担当理事 海江田 裕

委員長 大田 勝信

【監事】

石村 明比古

並 タツ

【選挙管理委員会】

委員長 廣瀬 恵

委員 岡田 眞

小倉 和也

【ばあとなあ宮崎】

委員長 児玉 広義

副委員長 黒木 幹雄

【日本社会福祉士会代議員】

田畑 寿明

松井 利博

「みなみ風」 No38 [宮崎県社会福祉士会通信]

2007(平成19) . 8.1 発行

発行 宮崎県社会福祉士会 会長 松井利博

事務局 〒880-8515 宮崎市原町 2-22

宮崎県社会福祉協議会気付

0985-32-9740 fax 0985-27-0877

URL <http://www.miyazaki-csw.org/>

E-mail : info@miyazaki-csw.org

発行責任者 広報担当理事 黒木 幹雄

広報委員長 井上 潤二

会員のみなさまからの情報をお待ちしております